



115期 株主通信

TDK TODAY

VOL.46 2010/WINTER



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、2010年9月30日に終了しました2011年3月期上期の連結業績についてご報告いたします。

当上期において、TDKの連結業績に影響を与えるエレクトロニクス市場には次のような動向がありました。

- スマートフォンを中心とした通信機器分野、自動車分野及び産業機器関連分野における多くのセット製品の生産は堅調に推移しました。
- 薄型テレビ、ノートパソコン、ハードディスクドライブ(HDD)等も、前年同期の生産水準を上回りました。
- 一方で、第1四半期から第2四半期にかけて需要変動により生産調整が発生したセット製品もみられました。

このような市場環境の中、当社の連結業績は、連結売上高4,422億34百万円(前年同期3,858億51百万円、前年同期比14.6%増)、営業利益371億88百万円(前年同期54億2百万円、前年同期比588.4%増)、税引前四半期純利益346億44百万円(前年同期9億53百万円、前年同期比336億91百万円増)、当社株主に帰属する四半期純利益261億16百万円(前年同期11億40百万円、前年同期比249億76百万円増)、1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益金額202円46銭(前年同期8円84銭)となりました。また、当期における為替変動による影響額は、売上高で約282億円、営業利益で約84億円のそれぞれ減少となりました。

(単位:百万円、%)

科目	期	前上期 (2009.4.1~2009.9.30)		当上期 (2010.4.1~2010.9.30)		増減	
		金額	売上高比	金額	売上高比	金額	増減率
売上高		385,851	100.0	442,234	100.0	56,383	14.6
営業利益		5,402	1.4	37,188	8.4	31,786	588.4
税引前四半期純利益		953	0.2	34,644	7.8	33,691	—
当社株主に帰属する四半期純利益		1,140	0.3	26,116	5.9	24,976	—
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益金額							
— 基本		8円84銭		202円46銭			
— 希薄化後		8円83銭		202円28銭			

CONTENTS

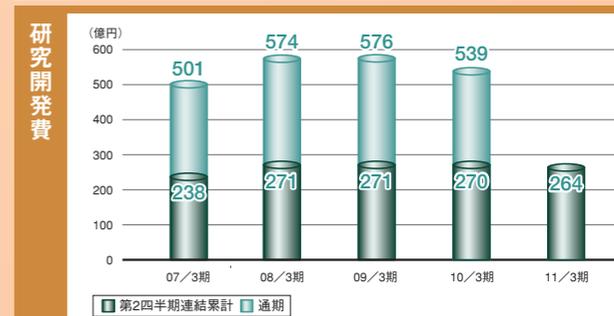
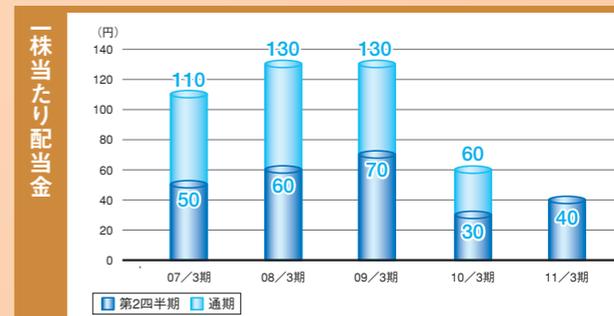
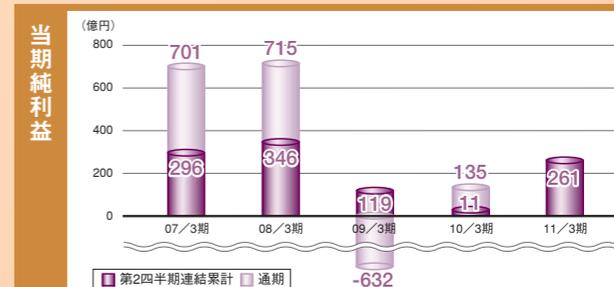
もくじ

TDK TODAY
vol.46

株主の皆様へ	1	だから、やっぱりTDK	7
連結データハイライト	2	名句の旅&TDK	9
製品別業績概要	3	株式の状況 他	10
TOPICS	5		

連結データハイライト

(表示単位未満は四捨五入して表示しております。)



製品別業績概要

当社では、製品の種類・性質、製造方法、販売市場等の類似性により複数の事業セグメントを「受動部品」及び「磁気応用製品」の2つの報告セグメントに集約しております。また、報告セグメントに該当しない事業セグメントを「その他」としております。

区分	構成する主な事業
受動部品	セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ、フィルムコンデンサ、インダクティブ・デバイス(コイル、フェライトコア、トランス)、高周波部品、圧電材料部品及び回路保護部品、センサ
磁気応用製品	記録デバイス、電源、マグネット、記録メディア
その他	エネルギーデバイス(二次電池)、メカトロニクス(製造設備)

▶ 受動部品

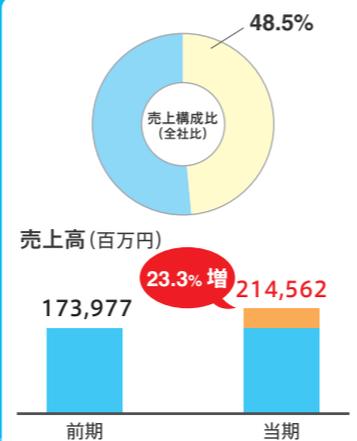
Passive Components

当セグメントは、①コンデンサ②インダクティブ・デバイス③その他受動部品で構成されております。売上高は、2,145億62百万円(前年同期1,739億77百万円、前年同期比23.3%増)となりました。

コンデンサ事業:セラミックコンデンサ、アルミ電解コンデンサ及びフィルムコンデンサから構成されております。売上高は757億30百万円(前年同期623億92百万円、前年同期比21.4%増)となりました。セラミックコンデンサの販売が携帯電話をはじめとした通信機器、自動車市場向けで増加したこと、アルミ電解コンデンサ及びフィルムコンデンサにおいては、産業機器市場向けで販売が増加したことが増収の主な要因です。

インダクティブ・デバイス事業:売上高は667億99百万円(前年同期536億75百万円、前年同期比24.5%増)となりました。情報家電、スマートフォンを中心とした通信機器、自動車、産業機器の各市場向けの販売が増加しました。

その他受動部品:高周波部品、圧電材料部品・回路保護部品及びセンサで構成されております。高周波部品の売上高は、通信機器市場向けの販売増により前年同期比で増加しました。圧電材料部品・回路保護部品及びセンサの売上高は主に通信機器及び産業機器市場向けの増収により前年同期比で増加しました。



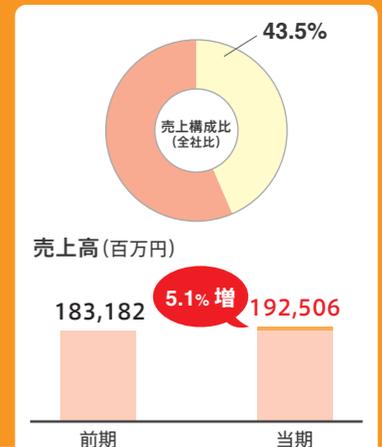
▶ 磁気応用製品

Magnetic Application Products

当セグメントは、①記録デバイス②その他磁気応用製品で構成され、売上高は1,925億6百万円(前年同期1,831億82百万円、前年同期比5.1%増)となりました。

記録デバイス事業:主にHDD用ヘッドとHDD用サスペンションから構成されております。売上高は1,370億円(前年同期1,338億93百万円、前年同期比2.3%増)となりました。HDD市場は需要の変動による生産調整が発生したものの、前年同期の生産水準を上回りHDD用ヘッドの販売数量が増加したことがその主な要因です。

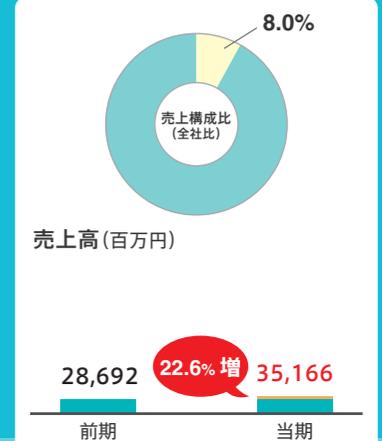
その他磁気応用製品:電源、マグネット及び記録メディアで構成されております。電源の売上高は、主に産業機器市場向けの販売増により前年同期比で増加しました。マグネットの売上高は、主に自動車市場向けの販売増により前年同期比で増加しました。記録メディアの売上高は、前年同期比で減少しました。



▶ その他

Other

エネルギーデバイス(二次電池)、メカトロニクス(製造設備)等で構成されております。売上高は351億66百万円(前年同期286億92百万円、前年同期比22.6%増)となりました。



『CEATEC JAPAN 2010』に出展、大きな関心を集めました



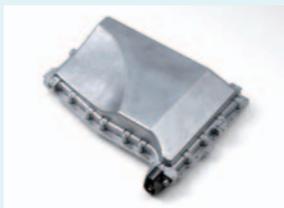
会場全景

アジア最大級の最先端IT・エレクトロニクス総合展『CEATEC JAPAN 2010』。今回も2010年10月5日から10月9日まで幕張メッセ(千葉県)で開催され、18万人を超える来場者でにぎわいました。

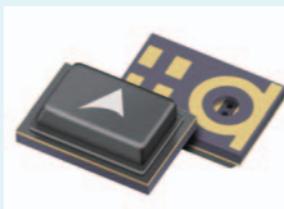
TDKではこの『CEATEC JAPAN 2010』に出展。『コア技術の共鳴 TDK eco Solution』をブーステーマに、カーエレクトロニクス、IT家電、モバイル、産機・エネルギーの4分野での取り組み・新製品をプレゼンテーションしました。

「カーエレクトロニクス分野」ではハイブリッド電気自動車(HEV)用車載DC-DCコンバータ、高温対応積層セラミックコンデンサ、「IT家電分野」では世界最高レベルのHDD用ヘッドの高記録密度技術、ESD対策機能内蔵薄膜共通モードフィルタ、「モバイル分野」ではMEMS*マイクロフォン、フロントエンドモジュール、「産機・エネルギー分野」ではLED用の電源やバリスタ基板、双方向DC-DCコンバータなど、環境やエネルギーに関連する新製品を展示しました。

*MEMS:Micro-Electro-Mechanical Systemの略。微細な電子部品や機械部品を集積化した、極小部品やシステムを指します。



HEV用DC-DCコンバータ



MEMSマイクロフォン

また、特設ステージでは、スマートグリッド関連製品や非接触給電に関する取り組み、シースルーおよびフィルム有機ELディスプレイをデモンストレーションし、大きく注目されました。



特設ステージ

さらに期間中は、「米国メディアパネル・イノベーションアワード2010」、「中国メディアパネル・アワード2010」という、米国・中国のジャーナリストや媒体企業による賞の授賞式も開催され、TDKは、「米国メディアパネル・イノベーションアワード2010」でシースルー有機ELディスプレイが部部分野での賞を受賞、また「中国メディアパネル・アワード2010」ではフィルム有機ELディスプレイでグランプリを受賞しました。

以上のように『CEATEC JAPAN 2010』を通じ、TDKは環境と調和した安心・安全・快適社会の実現を目指した素材やプロセス技術などを展示。多くの皆様にご来場いただき、TDKの先進の取り組みをご紹介することができました。



米国メディアパネル・イノベーションアワード2010の部部分野賞(前方盾)

日本政策投資銀行による環境格付で「特別表彰」受賞

当社は、株式会社日本政策投資銀行(DBJ)による「DBJ環境格付」評価で最高ランクの格付を取得し、電子部品メーカーでは初めて特別表彰を受賞しました。また、あわせてCO₂排出原単位を3年以内に6%以上削減する等の誓約をすることにより、「地球温暖化対策加速化支援無利子融資利子補給制度」の適用を受け、地球温暖化対策資金に関わる貸し出し金利に3年間、上限3%の利子補給を受けることが決定致しました。TDKでは、今回受ける融資を利用し、省エネ・省CO₂達成を目的に、国内工場における最新鋭機器等の設備増強工事等を実施する計画です。



次世代ネットワーク (NGN) 時代を支えるTDKの電子部品 ユビキタス・コンピューティングはこれから本格化

いつでも、どこでも、だれもが、意識せずにコンピュータを使いこなすユビキタス・コンピューティング。近未来というよりも、現在すでにそのただ中にあるのかもしれませんが。銀行のATMも自動改札機も1種のコンピュータ、スマートフォンは高度なモバイル・コンピュータです。パソコンのように機能するスマートテレビも登場し、携帯電話、テレビ、パソコンの融合が進んでいます。未来のパソコンはどう進化していくのでしょうか？

ちょっと気になるKEYWORD

次世代ネットワーク (NGN: New Generation Network)

従来、固定電話には電話回線網、携帯電話では無線通信による携帯電話網、インターネットには有線・無線のインターネット網、ラジオやテレビには放送網と、それぞれ独立して構築されてきました。これらをIP(インターネットプロトコル)をベースとして1つに統合しようというのが次世代ネットワーク構想。パソコンや携帯電話のみならず、デジタルテレビなどの情報家電や自動車なども1つのネットワーク上でつながり、本格的なユビキタスコンピューティング時代が到来しそうです。

ネットテレビ/スマートテレビ

従来からあるネット対応テレビではなく、CPUやメモリ、HDDなどを搭載し、キーボードのようなりモコンでパソコンと同様に操作するテレビ。テレビ番組の視聴・録画にとどまらず、ゲームや映画などのソフトをダウンロードしたり、世界中の動画コンテンツやニュースをキーワード検索したりなど、これまで受動的に見ただけだったテレビが、能動的に使いこなすテレビに進化していくものと見られています。

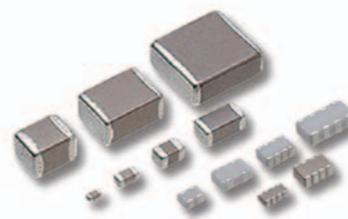


身の回りの電子機器の
すべてが1つのネットワークで
つながる時代が到来しそうです。

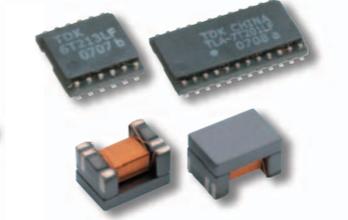


信号ライン フェラライトビーズ
フェライトの特性を利用し、信号に含まれるノイズ成分を吸収する小型ノイズ対策部品。

インタフェース 薄膜コモンモードフィルタ
高速インタフェースのノイズ対策に使用。電子機器の高速化とともに使用量が増えています。



各回路 積層セラミックチップコンデンサ/コンデンサアレイ
フィルタ回路、ノイズ対策などに多用。複数のコンデンサを1チップ化したのがアレイ部品。



電源回路 LAN用バルストランス
高速LANの信号を伝送させるトランス。フェライトコアに巻線をほどこして製造されます。



過電流制限素子 PTCサーミスタ
モータ始動時などに流れる過電流から電子回路を守るセラミック半導体の素子。



電源回路 電源系インダクタ
直流電圧の昇圧/降圧回路で、電流値をコントロールするコイル。巻線タイプが主流。



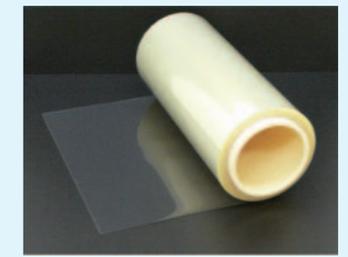
HDD 磁気ヘッド
高度な薄膜プロセス技術により製造。TDKはHDD用ヘッドのリーディングカンパニーです。



HDD VCM用ネオジウムマグネット
VCMは磁気ヘッドをディスク上で高速走査させるモータ。強力なネオジウムマグネットが使われます。

未来のパソコンはどう変わる？

これからのパソコンのキーテクノロジーとなるのはディスプレイ技術。スマートフォンではディスプレイが小さく、タブレット型パソコンはかさばります。この難点をクリアして、近い将来、フレキシブルディスプレイの利用により、紙のように巻いたり、折りたたむパソコンが登場するかもしれません。TDKの“フレクリア”は、フレキシブルなITO透明導電性フィルム。屈曲性と摺動性にすぐれるので、各種タッチパネルほか電子書籍や電子ペーパーなどへの応用も可能です。



フレキシブルなITO透明導電性フィルム“フレクリア”

腕時計のように身につけたり、衣服に搭載したりするウェアラブルコンピュータも構想されています。また、ホログラムによってキーボードを光学的に出現させたりする技術も研究されています。音声入力が進歩すれば、手による操作も不要になるかもしれません。

GEATEC2010のTDKブースでは、フィルムタイプおよびシースルータイプの有機ELディスプレイの展示とデモンストレーションがおこなわれ注目を集めました。フィルムタイプの有機ELディスプレイは、柔軟性にすぐれるので、腕に巻きつけるなど、ウェアラブルコンピュータへの利用にも期待されます。また、シースルータイプの有機ELディスプレイは、透明パネルの中に画面が現れますが、裏側からはシースルーで透明のままという不思議なディスプレイ。さまざまな応用範囲が広がりそうです。

有機ELディスプレイ



シースルータイプ



フィルムタイプ

名句の旅&TDK

第4回【千葉】

名句を生んだ各地の風物を訪ねながら、TDKの工場を紹介するシリーズの第四弾。今回は芭蕉の『鹿島紀行』より、利根川下流域(千葉県・茨城県)を巡ってみました。



群馬県北部を源流として関東平野を流れる利根川の朝。背後に見えるのが筑波山。

つきはやし梢は雨を持ちながら 松尾芭蕉

歌川広重の浮世絵にも描かれている小名木川は、隅田川と中川を東西に結ぶ運河です。江戸時代初頭、江戸川河口の行徳(千葉県市川市)は関東最大の製塩地で、ここから江戸城までの塩の運搬路として開削されたのが小名木川です。

芭蕉が小名木川にほど近い隅田川のほとりに草庵(深川芭蕉庵)を結び、俳諧の新境地を築きはじめたのは延宝8年(1680年)。その7年後の享保4年(1687年)の旧暦8月14日、月見をかねて、鹿島神宮(茨城県)にほど近い根本寺に隠棲していた知り合いの和尚を訪ねています。このときの紀行文が『鹿島紀行』です。

門人2人とともに芭蕉は、舟で小名木川を東に進み、江戸川河口の行徳で舟から下りて陸路をたどります。「やはた(市川市・JR本八幡駅周辺)といふ里をすぐれば、かまがい(鎌ヶ谷)の原といふ所、ひろき野あり」。あたりはささぎのものもなく、「つくば山(筑波山)むかふに高く、二峯ならび立てり」と記しています。およそ八里(約32km)の道のりを歩き通して日が暮れる頃、ようやく芭蕉一行は利根川右岸の布佐(千葉県我孫子市)に至り、ここから再び舟に乗って利根川を下り、夜半に鹿島神宮にほど近い根本寺に到着しました。

翌日の中秋・15日は、「昼より雨しきりに降りて」という悪天ではあったものの、明け方近くになって雲間から月が姿を現し、芭蕉が詠んだのが、「月はやし梢は雨を持ちながら」という句。「雲の動きがはやく、雨粒を宿した木々の梢の先にみえる名月は、まるで天空を駆け抜けていくようだ」という意味です。

蕉風と呼ばれる独自の表現に開眼する「奥の細道」への旅立ちは、鹿島紀行から2年後の元禄2年(1689年)です。



工場探訪

TDKテクニカルセンター…コアテクノロジーをさらに深化させる研究開発拠点
TDK成田工場…ネオジム磁石NEORECなど、先進磁性材料の生産拠点

TDKは千葉県に2つの研究開発・生産拠点をもっています。1つは市川工場を前身として1990年に新設されたTDKテクニカルセンター。デバイス開発センター、評価・解析センター、SQ研究所などの研究開発部門を擁し、多くの発明や特許がここから生まれ、TDKのコアテクノロジーを深化させています。もう1つは、成田市北部、利根川にもほど近い工業団地に1978年に建設されたTDK成田工場です。構内にある材料・プロセス技術開発センター(旧・基礎材料研究所)は磁性材料の世界的な研究メッカ。多種多様なフェライトコア、世界最高水準のフェライト磁石や希土類磁石など、先進的な磁性材料を数多く開発してきました。その研究成果をもとに成田工場生産されている高特性ネオジム磁石“NEOREC”は、HEV(ハイブリッドカー)やEV(電気自動車)の駆動モータ用マグネット、HDDのアクチュエータ用マグネットほか、家電機器のモータ用マグネットなどとして多用されています。



TDKテクニカルセンター(千葉県市川市東大和田2-15-7)



TDK成田工場(千葉県成田市南羽鳥松ヶ下570-2)

● 株式の状況 (2010年9月30日現在)

上場証券取引所	東京(証券コード:6762)、ロンドン
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
配当基準日	期末:毎年3月31日、中間:毎年9月30日
株主総会基準日	毎年3月31日(そのほか臨時に必要があるときはあらかじめ公告いたします)
公告方法	電子公告(当社のホームページ http://www.tdk.co.jp/ に掲載いたします)
1単元の株式数	100株
会社が発行する株式の総数	480,000,000株
発行済株式の総数	129,590,659株

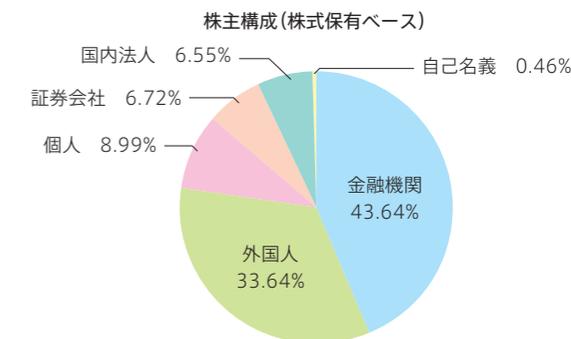
● 大株主 (2010年9月30日現在)

氏名	株数(千株)	出資比率(%)
1. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	14,531	11.27
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,508	11.25
3. パナソニック株式会社	6,250	4.84
4. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	3,753	2.91
5. JPモルガン証券株式会社	3,188	2.47
6. 資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	2,826	2.19
7. ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	2,154	1.67
8. 野村信託銀行株式会社(投信口)	2,148	1.67
9. 日本生命保険相互会社	2,140	1.66
10. SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	2,013	1.56
合計	53,510	41.48

(注記事項) 1. 出資比率は、自己名義株式(598,389株)を控除して計算しております。
2. 所有株式数、出資比率とも表示単位未満を四捨五入して表示しております。

● 株主様の状況 (2010年9月30日現在)

株主数:28,860名



● 取締役、監査役及び執行役員 (2010年9月30日現在)

取締役	執行役員
代表取締役 澤部 肇	会長 澤部 肇
代表取締役 上釜 健宏	社長 上釜 健宏
取締役 萩原 康弘*	専務執行役員 レイモンド・リョング (Raymond Leung)
取締役 森 健一*	常務執行役員 荒谷 真一
取締役 荒谷 真一	常務執行役員 藤原 賢一郎
取締役 梁瀬 行雄*	常務執行役員 小林 敦夫
取締役 米山 淳二	常務執行役員 植村 博之
監査役 **印は社外監査役	執行役員 野村 武史
常勤監査役 原 登	執行役員 石垣 高哉
常勤監査役 三善 昌昭	執行役員 吉原 信也
監査役 松本 香**	執行役員 米山 淳二
監査役 大野 亮一**	執行役員 ロビン・ツェン (Robin Zeng)
監査役 中本 攻**	執行役員 逢坂 清治
	執行役員 梶屋 雅隆
	執行役員 松岡 薫



お知らせコーナー



① 配当金に関するご案内

お受け取り方法 ◀◀◀ どんな方法があるの？

配当金をお受け取りになるには、次の4つの方法があります。
(複数の銘柄をお持ちの場合)

「お振込み」の場合

1. 全銘柄の配当金を証券口座にご入金
2. 全銘柄の配当金を一括して銀行口座へお振込
3. 個別銘柄毎の配当金を個別指定の預金口座へお振込

ワンポイントアドバイス

お振込なら安心・スピーディー！
詳しくはお取引のある証券会社等へ！

ゆうちょ銀行等の窓口の場合

4. 個別銘柄毎の配当金を
「配当金領収証」を持参し窓口にてお受け取り

確定申告 ◀◀◀ 何を留意すればよいの？

毎年の確定申告には次の書類を添付書類としてご使用ください。

配当金を「お振込み」でお受け取りの株主様

今回お送りした『配当金計算書』

※但し、「証券口座にご入金」の方法でお受け取りの株主様は、お取引のある証券会社等にお問合せください。

ワンポイントアドバイス

受け取ったら大切に保管！
詳しくは中央三井信託銀行へ！

配当金を「配当金領収証」にてお受け取りの株主様

今回お送りした『配当金計算書』

未払配当金 ◀◀◀ 今からでも間に合うの？

まだ受取られていない過去の配当金は、下記の株主名簿管理人(中央三井信託銀行株式会社)にお問合せください。

② 各種お手続き ◀◀◀ どこに問い合わせればよいの？

住所変更、単元未満株式の買増・買取、配当金受取方法の指定等は、お取引のある証券会社等にお申込ください。
但し、特別口座*をご利用の株主様は下記の口座管理機関(中央三井信託銀行株式会社)にお申込ください。

*特別口座の株主様へ〔2008年12月末までに株券をほふり(証券保管振替機構)へお預けにならなかった株主様〕

特別口座のままでは証券市場でご自身の株式の売却は出来ません！

この場合、まずは証券会社等にご本人様名義で一般口座を開設し、株式を振替えれば売買可能となります。また、単元未満株式をお持ちの場合は同封されている「単元未満株式買取請求」をご利用いただく方法もございます。詳しくは、下記の口座管理機関(中央三井信託銀行株式会社)にお問合せください。

株主名簿管理人および口座管理機関	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先および電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話:0120-78-2031(フリーダイヤル)
同取次窓口	中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店、日本証券代行株式会社の本店および全国各支店



TDK株式会社

〒103-8272 東京都中央区日本橋一丁目13番1号 <http://www.tdk.co.jp/>